

コアシンポジウム 3

「消化管疾患治療学の新展開【複数診療科で連携した消化管治療】」

主司会 鈴木 翔（国際医療福祉大学市川病院消化器内科）

副司会 井上 明星（滋賀医科大学放射線科）

現在の医療は、高い専門性や治療法の複雑化に伴い、単一の診療科で対応することが難しいこともある。そのため、カンサーボードなどの様々な診療科、専門領域の異なる医師が合議し、最適な治療方針を定めることが望まれている。本セッションでは、LECS に代表される外科・内視鏡科合同手術や X 線透視を併用するハイブリッド手術などの治療手技、消化管出血における内視鏡治療と血管内治療の併用、術前化学放射線療法と縮小手術、また機能回復を目指したリハビリテーションとの連携や心理的ケアのため精神科・臨床心理士との連携、さらにはチーム医療としての多職種連携など、消化管診療における複数の専門職が連携した取り組みを広く募集する。